

浦和ルーテル学院高等学校



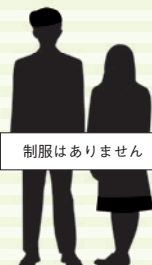
さいたま市

浦和ルーテル学院



Address 〒336-0974 さいたま市緑区大崎3642
 生徒数 (高1) 45名 (高2) 56名 (高3) 58名 (2015年5月1日現在)
 TEL 048-711-8221
 FAX 048-812-0012
 学期制 3学期制
 土曜登校 5日制
※年6～8回模擬試験を実施している
 内進生とのクラス編成 混成クラス

共学校



制服はありません

心の教育を実践

1953年(昭和28年)、浦和駒場に聖望学園小学校として創立され、高等学校は1970年(昭和45年)に開校されました。そして昨年12月に浦和美園に新築移転をしました。その建学の精神は、キリスト教の神髄、人間尊重、キリストの愛の精神から「神と人とを愛する人間、神と人ともに愛される人間」を育てることです。

海外研修で国際感覚を身につける

浦和ルーテル学院では、希望者を対象に夏休みにアメリカ・カリフォルニア州コンコーディア大学アーヴァイン校と、アリゾナ州クライスト・チャーチ・ルーサランで3～4週間海外研修を行います。

これはキリスト教理解、英語能力、人間理解の育成を目的としています。

また、クライスト・チャーチ・ルーサランからも教員と生徒がいっしょに来日し、ともに学校生活を送ります。

こうしてお互いの文化交流を行うことで、国際感覚を養い、異文化への理解を深めています。

ボランティアを通じた心の教育

1人ひとりの学力を伸ばすことはもちろん、個性を伸ばし、思考し、創造し、責任のとれる生徒を育成しています。

そのために、ボランティアや募金、勤労奉仕を通じた心の教育を実践しています。

奉仕の日を設定し、高校1年生では街頭で赤い羽根共同募金活動を行います。高校2年生は特別養護老人ホームに行き、清掃や勤労奉仕と入所者との交流会を実施しています。また、年間を通して勤労奉仕、交流会を実施しています。

このように学校や家庭だけの教育だけではなく、学外で勤労奉仕をすることで、隣人への愛を実践しています。そうして、さまざまな地域社会との交流を深めることによって生徒たちは人間的に成長していくのです。



—安田理のここがポイント!—

国際交流や奉仕活動も盛ん

キリスト教の教えに基づく教育を行っている浦和ルーテル学院は、1クラス30人学級の1学年2クラス編成で少人数教育を実施しています。生徒の米国研修制度や教師交換研修制度など、国際交流が盛んで、さらにボランティア活動(奉仕活動)の実践も特徴です。



推薦入試のポイント

推薦入試の内容は作文と面接です。作文のテーマはこの1年間の出来事から出題されています。普段から新聞やニュースなどに関心を持ち、自分の意見や感想がしっかりと文章で述べられるようにしておきましょう。時間は45分で字数は741→